

令和8年度

# 京都市デジタル化 推進プロジェクト

募集  
期間

令和8年

2月24日[火]～5月29日[金]

令和8年

※17時必着

支援  
件数

200件程度

デジタル導入枠：50件程度  
デジタル展開枠：150件程度

対象者

本事業の対象者は、次の①、②のいずれかに該当する中小企業等とします。

- ①京都市内に主たる事業所又は事業拠点を有する中小企業等
- ②主たる事務所を京都市内に設けている中小企業等で構成する団体

※京都市内で本事業を行う者でなければなりません

※令和8年2月24日現在において、開業又は設立後1年未満の者は対象外です

過去採択者も  
一定数採択予定

## デジタル導入枠

ITツールを活用できていない、デジタル化初期段階の中小企業等

- ✔ ペーパーレス化による人件費や事務処理コストを削減
- ✔ 業務自動化による作業負担の軽減
- ✔ POSレジ・会計ソフトの導入

### 支援内容① IT専門家派遣

回数 **1** 補助事業者につき、  
最低**2**回、最大**5**回

派遣  
期間 **令和8年**  
**12月25日(金)まで**

費用 **無料**

### 支援内容② ITツール導入

補助率 **4/5以内**

補助  
上限額 **40万円**  
(千円未満切捨、税抜)

対象  
一例 **ペーパーレス化、  
POSレジ、  
会計ソフト導入 等**

## デジタル展開枠

ITツールの導入等により、既にデジタル化に取り組んでいる中小企業等

- ✔ オンラインサービス導入による顧客接点の拡大
- ✔ 組織・業務プロセスのデジタル改革
- ✔ 基幹システム・EC構築、RPA導入

### 支援内容① IT専門家派遣

回数 **1** 補助事業者につき、  
最低**2**回、最大**5**回

派遣  
期間 **令和9年**  
**1月29日(金)まで**

費用 **無料**

### 支援内容② ITツール導入

補助率 **2/3以内**

補助  
上限額 **100万円**  
(千円未満切捨、税抜)

対象  
一例 **オンラインサービス、  
アプリ導入、データ分析、  
基幹システム 等**

対象経費 **ソフトウェア購入費、システム構築費、ハードウェア購入費、導入関連経費、クラウドサービス利用料、賃借料 等**

# 【デジタル導入枠】アナログからの脱却で、本来の業務に集中する

## 対象となるお悩み

「手書きの帳簿作成に毎月何時間もかかっている」「在庫管理がノートで、実数と合わない」

### アナログ



### デジタル



- 手書きの会計帳簿 → クラウド会計システムの導入で自動仕訳
- 紙の注文伝票と現金決済 → POSレジの導入で売上データ自動集計&キャッシュレス対応
- 紙資料の山 → スキャナーとクラウドストレージによるペーパーレス化

# 【デジタル展開枠】システムをつなげて、もっと便利に、もっと売上アップ！

## 対象となるお悩み

「部署ごとにシステムがバラバラで、同じ情報を何度も入力している」  
「お店だけでなく、ネットでも商品を販売したい」

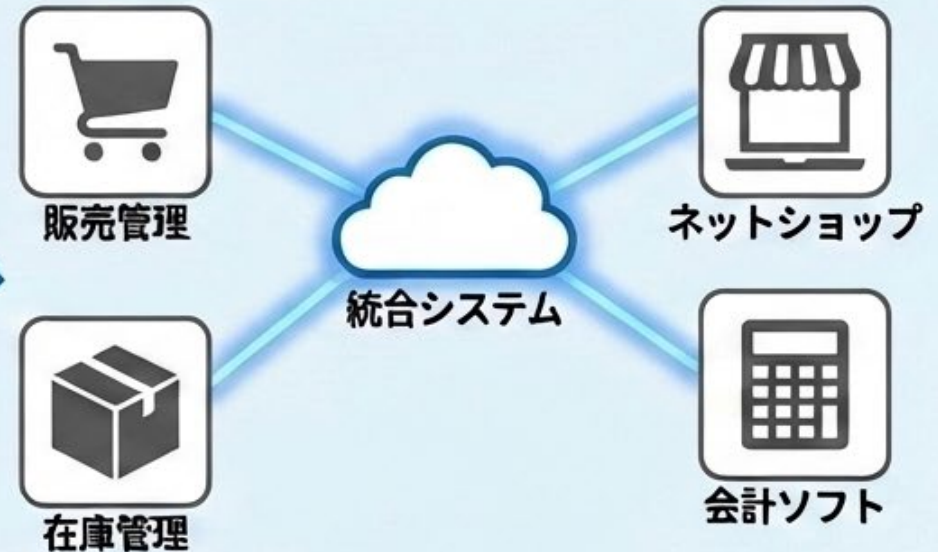
### バラバラな管理 (Before)



- バラバラのデータ管理 → 転記作業が発生、ミスも多い

デジタル展開枠  
で導入！

### つながるシステム (After)



- 統合システム (ERP) で、注文・在庫・請求をまとめて管理
- ネットショップ (ECサイト) 開設で、全国へ販売拡大
- 自動化ロボット (RPA) が、単純作業を代行

## 支援の流れ

デジタル導入枠

デジタル展開枠

書類  
申請

※令和8年5月29日  
(金) 17時まで

支援  
決定

※6月下旬頃

専門家  
派遣

※事業完了まで

補助金  
申請

補助金  
交付決定

IT導入  
開始

事業  
完了

実績  
報告

支援対象期間：  
支援決定通知日から

デジタル導入枠：令和8年12月25日（金）まで

デジタル展開枠：令和9年1月29日（金）まで

# 京都市DXモデル構築プロジェクト

厳しい人手不足やコスト高の中  
デジタルを武器に、強い企業へ!!!



京都市  
CITY OF KYOTO



DX認定  
取得



企業価値  
向上



ビジネス  
モデル変革

2年目（令和9年度）

最大300万円の補助金

1年目（令和8年度）

IT専門家による伴走支援

募集期間

**4月10日(金)～6月12日(金)**

対象者

- ・京都市内に主たる事業所又は事業拠点を有する中小企業等
- ・主たる事務所を京都市内に設けている中小企業等で構成する団体

※京都市内で事業を実施するものに限りです。

※令和8年4月10日現在において、開業又は設立1年未満の者は対象外です。

支援  
期間

**約2年間**

※支援採択決定通知日から令和10年2月29日（火）まで

申請  
方法

Web申請のみ

※右の二次元コード、又は、下記URLよりお申込みください。

<https://www.astem.or.jp/entre/dx-model-2026>

今すぐ  
チェック！



## 支援内容

1年目（令和8年度）

### （1） 専門家派遣によるDX戦略の構築、

#### DX認定制度、DXセレクションへの申請支援

ITコーディネータ等の専門家を派遣し、採択事業者と共に経営課題や業務課題を整理のうえ、効果的なDX戦略の構築について伴走支援します。

また、本支援を通じて、国が実施する「DX認定制度※」への申請もしくは、認定の更新とDXの取組を表彰する「DXセレクション」への申請もサポートし、企業価値向上に繋がります。

専門家派遣回数

原則最大15回

専門家派遣期間

支援採択決定日から  
令和9年2月26日まで

## DX認定とは？

国がDXを推進する準備が整っている事業者を認定する制度。税制控除等の支援措置が受けられるようになるほか、DXに積極的に取り組む企業としての社会的認知度の向上、ブランドイメージの向上等も期待できる。

令和8年3月時点の認定数

17/1,124

全国で認定された中小企業における  
京都市内企業の認定数



DX認定の  
詳細こちら

## (2) DX構築に係る補助金支援

2年目（令和9年度）

構築したDX戦略に基づく、ITツール等の導入経費を補助します。

補助率	補助対象経費の2分の1以内
補助上限	上限300万円

採択事業者数

専門家派遣のみでも手厚い支援！前回も大好評！

専門家派遣・補助金支援	5社	専門家派遣のみ	5社
-------------	----	---------	----

補助金の交付対象となる5社に加えて、専門家派遣により

DX戦略構築・DX認定申請支援のみを行う5社も採択します。



## Case 1 製造業



# AI導入により属人的な見積もり業務を改善

**課題** 膨大な種類のアイテム、顧客ごとの注文数や仕様が複雑で見積り業務が属人化

**解決策** AIに過去の見積もり実績データを学習させ、誰もが対応できる仕組みを構築

**成果** 見積もり精度が向上。再現性を高めつつ、今後は仕入れコストや経済動向を踏まえ、利益性・受注率を両立した自動化を目指す。



## Case 2 農業



# スマート農業システムの導入により持続可能な農業へ

## 課題

担い手不足のため、水田の水管理や温室の温度調整など、  
属人的な日常作業の継続が困難に

## 解決策

専用のツールだけで、民生用の汎用機器等を活用し、水位センサーや水田ゲートを設置。  
スマホで自動給水・止水を遠隔で操作、温室の温度や湿度等を検知し、自動で調整。

## 成果

現場にわざわざ行く必要が減り、労働時間が短縮。適切な管理により収穫量が増加

## 支援を受けた事業者様からの声

システムの方向性を、第三者の目から見て適切かどうかのアドバイスが良かった。ベンダーとの間で導入ありきで、話を進めてしまいがちなパターンが多いが、専門家として意見を貰えるのはとても助かった。



ECサイトおよびモールでの商品展開を拡大し、売り上げが増大



出荷設備の導入によって、1点あたりの作業時間を30%削減することができ、月間30万円分程度の出荷コスト削減を実現できた。

